

北海之光

2月号 北海道教区報

祝福されよ 主に信頼する人は

エレミヤ書 17章 7節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshkk-hokkaido.jp

http://www.nshkk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

伝えることば

道北分區協働

司祭 ヘレン 木村 夕子

あなたの考えは？そう聞かれて喉が詰まった。それは神学校に入った時の事です。急に私は言葉を失ってしまいました。いえ、日常生活は普通に出来ていたと思います。しかし勉強には苦労しました。課題図書は漢字が古くて読めず漢和辞典を購入して、それでも内容が理解できない。神学とは神の言葉の学問であると教えられ、すまし顔の裏に本心を隠していたあの頃。自分の言葉が話せなかったし、やっと出した言葉が通じない事が多かったし、心から話せる相手が欲しかった。

小説家で文学者の高橋源一郎はラジオで次の事を話していました。「翻訳というのは、ことばをつくる作業です。たとえば二葉亭四迷は、明治期にロシア語原文から日本語をつくった。当時の日本には小

説に使えることばがなかったから。一部の人しか読めなかった聖書を多くの人を読めるように翻訳したマルティン・ルターも然り。『中略』考えてみたら、二葉亭四迷もルターもそうですけど、一部の人が読んでいたものを「伝えることば」に変える、それを聞く人たちは弱い人たちです。知識を解放するためをやったのが翻訳です。その作業の中には、ずっと閉じ込められている弱い人々を世界に向かって広げていく作業みたいなことがあるのかな、とも考えました。」ラジオで話す小説家先生の言葉が心に届きます。言葉に出会うとは解放された知識を自分のものにできること、弱さを背負つてもがく私が世の中に自分の足で立つための力になると教えてくれている。

ラジオの先生はもう一つのことを教えてくれました。翻訳家の藤本和子とその著書、一九八〇年代に北米の黒人女性たちの生きざまを聞き書きした『ブルースだってただの唄』を引用して、「遠いほうにいるけれど本当は僕たちに近い人々を目の前に連れてくるという作業が、翻訳です。」と話しました。この聞き書きの本には弱さと苦しみを抱えて生きる黒人女性たちの言葉が沢山収められてあり、自ら語ることの必要性和効果について教えてくれました。言葉を受けとめると保証される聖域が語ろうとする人々には重要であること、そのようにして語ることでその人自身が自分の正体を知る作業になり得るのだということ。語る作業は聞く人なしでは難しいのです。孤独は人間から言葉を奪うものです。私はあの時、自分の言葉を失っていたと思いついたのは、この本がきっかけです。翻訳家が聞き書きで本にまとめた言葉に出逢い、遠い方にも近いけれど本当は私にとっても近い人が目の

前で生き生きと語って言葉を聴かせてくれる。その言葉に私は励まされています。キリスト教徒にとって、言葉と言えばそれは神様の御言葉を意味しますね。神の言葉によって創造された天地万物、神の言葉としての御子イエス・キリスト。御子は神の言葉を全ての人に語った方です。神というおおよそ遠くて手の届かないお方が持つ、全ての存在を有らしめる尊い神様の御言葉。それを力なく弱くされていく人々のすぐそばで、病や罪にさいなまれる人のすぐそばで、伝えることばで聴かせてくれるのが御子イエス・キリスト。ここに救いが感じられますよね。一人で聖書を読み感動して心躍らせる人は御言葉のプロです。聖書の言葉と通じ合えずに葛藤するのはよくある事です。お勧めは誰かと語り合いながら読む事、誰かの大切な聖書の言葉を聴かせてもらう事です。伝えることばこそ、御言葉の命が輝くから。



中央 佐藤一枝さん

—心の窓をひらいて—

福音と私(二四五)

—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

札幌聖ミカエル教会信徒

マリア 佐藤 一枝

好きな聖句

『わたしにつながっていない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。』

ヨハネによる福音書一五章四節―五節

私は日高の新冠で育ったのでイエス様と同じ馬小屋で生まれたと信じていました。両親と祖母はクリスマスで幼児洗礼を新冠聖フランシス教会で受けました。

三歳の時に祖父が昇天し、その後、父が右手の人差し指



を切断する怪我をして仕事が出来なくなり、両親は離婚し、ずっと祖母が私の面倒を見てくれていました。農家を離れ札幌市白石区に父の働く運送会社の社宅に住み、貧しくも幸せに暮らしていました。白石から日曜学校に通う為、バスと市電を乗り継ぎ聖マーガレット教会に通いました。当時司祭だった故渡辺主教様からの堅信を受け、教名をマリアと付けて頂きました。私は一枝という字が嫌いで父に「和」「恵」を使ってほしかったとよく言っていました。新冠に居た時、矢澤先生のお子様の字が羨ましく他に名前は？と聞かれる度にマリアと答えたかった程でした。でもある時、聖書の中に「わた

しはぶどうの木、あなたはその枝である。」と、主とつながっている一本の枝の事を知り、自分の名前が好きになり、その名付親は矢澤先生だったと記憶し、感謝しています。一〇歳の時、祖母の体力を考え父が再婚しました。夫を事故で亡くし三人の男の子を育てている人でした。父には何度か再婚話がありました。が、年離れた母と子どもがいる事が原因で断られていたそうです。神様は私達に救いの道を与えてくれました。でも、継母は教会を嫌い、日曜日になると不機嫌でした。私と二人だけになると色々仕事で言いつけ辛くあたるので。父が日曜勤務になると教会には行かせてもらえず、どんどん離れてしまいました。祖母も私と継母の板挟みに耐えられず、次男の住む広島県に行き、離ればなれになりました。慣れない土地での生活。三年後には天に召されました。継母は私に祖母に会うことも許さず、戻ってきた遺骨を抱く事しか出来ませんでした。

た。その後、私は進学も許さず就職し、給料は全て取られ、自由は一つもありませんでした。父は夜働き昼間は寝るといふ、私達と逆の生活パターンで、継母と私の日常を知りませんでした。私さえ我慢していれば父は安心出来るし、神様と祖父母が見守ってくれると信じて生きてきました。自転車で膝の怪我をした時、病院に行く事も出来ず、また継母との関係に悩み精神的に苦しみ、何度か倒れる事が続き、検査後安静にと言われたのに動かし、その後、足腰が立つ事も出来なくなり初めて私は殺されると思い、その瞬間、継母を許さないと心に決めてしまったのです。私達親子を救ってくれた事への負い目から父も継母には逆らえず、ずっと我慢する人生でした。父が仕事帰りに十字架を見つけた先が、札幌聖ミカエル教会でした。自宅から近い方が通いやすいと聖マーガレット教会から移籍させていただき、大好きだった大友司祭の居る教会に通いま

した。お説教が苦手といつも陪餐直前にドアを開ける事が多かったかと。二〇〇一年五月、大友司祭に見守られ、たっぷりお説教を戴き天に召され、今頃は親子仲良く暮らしている事と思います。李司祭と一緒に父の写真も共に新冠の教会訪問が出来た事は一生忘れる事が出来ません。縁あって夫と出会いましたが名字が私の旧姓と同じ佐藤。多い姓とは聞いていましたがまさか!!神様のいたずら?

継母も亡くなり、私には今母と呼べる人は夫の母だけです。施設で暮らし、コロナで今は面会出来ず早く会える日を毎日祈っています。

私には実の親がおりません。何故なら私は神様の子だから。私は今、教会の方々に支えられ色々な事を学び育ててもらっています。

血のつながりより深い愛に感謝して、これからも神様が私を父の元へ送る日を決められるまで、もう少し頑張ってみようと思います。

常置委員会報告

第三回 一月八日

《協議事項》

- 一、教区会期の諸役員選任の件
- 二、信徒奉事者推挙の件
- 三、新型コロナウイルスの件
- 四、宣教協働区と伝道教区の件

人選を進める事とした。
 二、信徒奉事者推挙の件
 ・各教会より提出された推薦を承認した。
 三、新型コロナウイルスの件
 ・一月同様、二月も十分な対応を継続する事とした。
 四、宣教協働区と伝道教区の件
 ・教区の今年の課題について「北海の光」誌に掲載する事とした。
 ・教役者会を早めに開催し、話し合いの時を持つ事とした。



主教室より

ラジオで聞いた話。ある社員が偏頭痛で悩んでいました。誰にも言えず、と言つよりも言つたところで分かつてもらえないと思つていました。社内に偏頭痛持ちが他にもいることを知り、それらの人々で「偏頭痛部」を作りました。自分自身が偏頭痛だったり、家族にそれで苦しむ人がいるという社員たちが加わり、会社にも認知され、その活動を通して偏頭痛に苦しむ人々のための配慮がされるようになりました。そして、そこから社内でのゲームが始まりました。と言つて会社を早退した人

が夜の飲み会に来ていた」というような場合、その人について腹を立てたり、不審の目を向ける前に、そのケースにはどのような背景があったのかと推測する・・・と、この場合、「眼科に行つて、コンタクトレンズを調整してもらつて、夜の飲み会には間に合った」のではないかと。このゲームは相手をすぐ審判にかけないで、その背後にありそうな事情を善意的に推測するということなのです。このゲームがいろいろな場面で行われる中で、偏頭痛持ちの社員のことだけではなくて、様々な問題に対して理解や思い遣りが深まったというのです。

「おまえは怒るが、それは正しいことか」(ヨナ書三：四)と神は私たちに問われます。家族の中で、教会の中で、私たちは怒りまです。悲しくなります。自分に向けられた言葉や態度で傷つくからです。自分が理解されなかったり、正義や正当性が否定されたと思つたとき、私たちの自尊心はズタズタになります。でも、このような時、敢えて相手をすぐに罪に定めないで、その背後にある相手のことを思い遣る・・・この大齋節、そんなことができなんでしょうか。十字架の上のイエス様は、死に至るまで、あなたを赦し、愛し続けてくださったのですから。

主教 ナタナエル 植松 誠

- 五、教役者人事(案)の件
- 六、聖ミカエル幼稚園建て替えの件
- 七、幼稚園建て替えに伴い、牧師館の居住を教会近くのマンションに引越しする事とした。

堅信式受領 おめでとう

札幌聖ミカエル教会
 セシリア 成澤 穂香
 ヴェロニカ 直井 徳子
 カタリナ 山崎美智子
 (二月三日)



十 教区逝去教役者 記念聖餐式

三月一〇日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 遠藤 喬

伝道師 水科 五郎

司祭 ベヴァレー・D・タッカー

二月二〇七年三月一〇日

伝道師 西村 ヒサ

一九二三年三月一六日

伝道師 フローレンス・E・カーター

一九七〇年三月一七日

司祭 ウィリアム・A・リーブ

一九六六年三月一八日

司祭 吉川 孝

二〇一二年三月一八日

司祭 岸本 隆一

一九五三年三月二六日

伝道師 グレース・S・ステインソン

一九四二年三月二九日

伝道師 中村 熊次郎

一九四九年三月三〇日

司祭 ジョージ・C・ニベン

一九五一年三月三〇日

伝道師 H・アンデレス

一九一八年三月三〇日

2021年度 教区役員一覧表

日本聖公会 北海道教区
2021年1月1日現在

委員(部)会名	選出者	長	委員・部員名
常置委員会	教区会	司祭 大町信也	司祭 下澤 昌、司祭 永谷 亮、 大友 宣、沖田京子、矢部幸子
教区審判委員	教区会	教区主教	司祭 木村夕子、司祭 松井新世、 沖田京子、松下孝広
会計監査委員	教区会	古川義則	木島嘉子
教区ハラスメント 防止委員会	常置委員会	志賀直信	司祭 木村夕子、糸田正博、山本雅之
管財委員会	常置委員会	橋本知樹	
建築融資金委員会	常置委員会	久末隼一	教区事務所主事、財政部長、 財政部チャプレン
I T 委員会	常置委員会	司祭 永谷 亮	司祭 吉野暁生、横山光紀
北海道 M T S	常置委員会	司祭 吉野暁生	司祭 大町信也、糸田正博、柴山富美子
礼拝委員会	常置委員会	司祭 松井新世	鈴木かほる、丸山悦子
教区事務所	常置委員会	主事 司祭 永谷 亮	副主事 金内淳子、書記 高橋 愛
宣教活動推進部	常置委員会	司祭 吉野暁生	司祭 飯野正行、司祭 池田 亨、 司祭 大町信也、司祭 木村夕子、 司祭 永谷 亮、司祭 松井新世、 司祭 広谷和文(3月まで)、執事 上平 更、 佐藤忠志、城石梨奈、高橋 愛、土橋芳美、 福富牧子、宮本道子、丸山悦子、矢部幸子、 山崎典美、山本修嗣
財政部	常置委員会	橋本知樹	鈴木幸夫、松下孝広、横山光紀
神学生養成委員会	常置委員会	山崎典美	今村 隆、夏堀ヒロ子、服部幸子、 横山弥生
歴史文書保管委員会	常置委員会	下田尊久	司祭 池田 亨、佐藤さつき、山本修嗣
北海の光編集委員会	常置委員会	司祭 池田 亨	久慈吉雄、佐藤さつき、丹 政清、 山崎恒子、吉谷かおる
教区礼拝実行委員会	常置委員会	横山光紀	
教区宣教150年 準備委員会	常置委員会	司祭 吉野暁生	司祭 木村夕子、大友 宣、小貫晃一、 鈴木幸夫、高橋 愛、丸山悦子、 教区事務所主事
分区長 道 央		司祭 大町信也	
分区長 道 南		司祭 吉野暁生	
分区長 道 東		司祭 松井新世	
分区長 道 北		司祭 広谷和文	
聖職養成委員	教区主教	司祭 大町信也	司祭 下澤 昌
聖職試験委員	教区主教	司祭 下澤 昌	司祭 池田 亨、司祭 大町信也、 司祭 広谷和文(3月まで)
教役者子弟育英資金	教区主教	教区主教	財政部長、教区事務所主事、三溝千春
主教座聖堂		教区主教	常置委員、札幌キリスト教会牧師、 同教会委員会

委員(部)会名		選出者	長	委員・部員名
	チャプレン教区婦人会	教区主教	司祭 池田 亨	
	〃 財 政 部		司祭 永谷 亮	
	〃 青 少 年		司祭 永谷 亮	
	〃 G F S		司祭 木村夕子	
管 区 関 係	日本聖公会代議員	教 区 会		司祭 大町信也、司祭 永谷 亮、 大友 宣、矢部幸子
	日本聖公会常議員	管区総会		司祭 大町信也
	祈祷書改正委員会	常議員会		司祭 永谷 亮
	女 性 デ ス ク			吉谷かおる
	日本盲人キリスト教伝道協議会			司祭 永谷 亮 (NCC派遣聖公会選出理事)
	ジェンダープロジェクト			司祭 永谷 亮
	管 区 審 判 廷	管区総会		司祭 下澤 昌
	聖公会保育連盟	教区主教		矢部幸子
管 区 諸 委 員 会 教 区 連 絡 担 当 者	青 年 委 員 会	常置委員会	執事 上平 更	
	正義と平和委員会		司祭 大町信也	※原発問題プロジェクト 尾関敏明
	人権問題担当者		執事 上平 更	
教 区 関 係 団 体	NPO法人ファミリーサポート聖十字ひろば		理事長 大友正幸	
	社会福祉法人 聖 公 会 北 海 道 福 祉 会		理事長 植松 誠	理事 大友正幸、下澤 昌、 高橋久美子、矢部幸子、山崎恒子 監事 高田鎮通、山崎典美
	学校法人 聖 公 会 北 海 道 学 園		理事長 植松 誠	理事 大友正幸、広谷和文、 遠藤淳治、菊地和子、鈴木典明、 渡部良子 監事 能登 晟、鏡谷光司
教 区 協 力 団 体	教 区 婦 人 会		会 長 神林直子	
	教 区 G F S		支部長 小澤暢子	
	マ ル タ 会		主事 司祭 永谷 亮	高橋 愛
他 協 力 団 体	ホレンコ幹事		司祭 池田 亨、須田 潔、横山由紀子	
	北海道外キ連		司祭 大町信也	
	刑務所教誨師 (カッコ内は 所属刑務所)		司祭 飯野正行(網走)、司祭 永谷 亮(月形)、司祭 藤井八郎(函館)、司祭 松井新世(釧路)、司祭 吉野暁生(月形)	

11011年

「北海道教区に求められよう」

北海道教区常置委員会

常置委員長

司祭 ペテロ

大町 信也

私たち北海道教区は、二〇二一年を共に迎えました。この一年の特別な意義と課題について皆様と共有したいと思います。

植松主教の退任を間近にして

植松誠主教様は、現在まで二四年間にわたり北海道教区主教として務めて来られましたが、来年(二〇二二年)三月の定年退職を控え、残す任期はあと一年余りとなられました。日本聖公会の法規の規定では、退職の一年前から即ち今年(二〇二一年)の四月から後継主教を選ぶ選挙が可能となります。もちろん植松主教の退職直後にその選挙を行う事も可能です。そのために、私たちは後継主教を選ぶ準備に入らなければなりません。

宣教協働区と伝道教区制

ところが、私たちはもう一つの選択肢を与えられる事

となりました。それは、新たな主教を選ばず「伝道教区」となるという道です。昨年(二〇二〇年)一〇月に開かれた日本聖公会総会において、「宣教協働区・伝道教区制」に關連して日本聖公会法規の一部を改正する議案が、主教会より提出され、慎重な議論を経て可決されました。その点に關して植松主教は、昨年開催された教区会における告辞(北海の光一二月号を改めて是非お読みください)において、詳しく述べておられます。日本聖公会が、今後も生き生きとした宣教・牧会を続けて行くためには、長年維持してきた一教区の枠を越えて協働して行くと共に、将来的には教区再編により教区数を減らして行く事を、この決議は期待しています。

伝道教区とは

各教区は教区会の決議と日

本聖公会総会の承認によって教区主教を置かない「伝道教区」に移行することが可能になりました。その場合、管理主教の下で原則五年以内に他の教区と合併するなどして再編を目指すこととなります。

宣教協働区の中で共に

総会決議によつて日本聖公会には、三つの宣教協働区が設定され、北海道教区は、東北・北関東・東京の各教区と共に、東日本宣教協働区に属することとなりました。既に各宣教協働区に立てられた「協働委員会」は、その働きを始めようとしており、教区という垣根を越えて、賜物を交換、共有しながら互いに支え合つて共に歩んでいこうとしています。また、そのような取り組みの中から将来的な教区再編が徐々に進んで行く事が期待されています。

与えられた時間の中で

協働と再編を目指す営みは、それなりの時間と経験の積み重ねを必要とするものです。宣教協働区は、新主教を迎える教区は、新主教を選ぶか伝道教区の道を選ぶかの決断

を求められます。北関東教区では、本年(二〇二一年)三月の広田主教の退任を前に、昨年一月の教区会において北関東教区の伝道教区への移行を決議しました。これを受け日本聖公会は三月六日に臨時の総会を招集します。一方、北海道教区にとつて、主教選挙を行うか、新たな主教を選ばず伝道教区に移行するに於いての決断を行うために残されている時間は概ね約一年と考えて良いでしょう。

私たちがなすべき事

上記の選択と決断は、北海道教区の歴史にとつても非常に重要な事ですから、深い理解と丁寧な検討を通しての一致が必要な事は言うまでもありません。つまり、第一に「宣教協働区」と「伝道教区制」について詳細に検討し、現在の北海道教区がこの制度に移行するのに相応しい時期であるのかどうか、新主教のもとで協働と再編の道を模索して行くのが適当であるのかを、判断しなければなりません。そのためには、信徒、教役者が共に学び協議していくプロ

セスが大切になります。既に、教役者会では、昨年よりこのテーマについての学びを始められています。より具体的な検討を進めて行くことになりま。また信徒と教役者が共に理解を深め考えるためのテキストを作成したいと考えています。その上で、教役者・信徒を交えた教区的な議論の進め方を検討する必要があります。

議論を

コロナ禍のもとでも、丁寧な課題について検討を進めて行くためには、様々な知恵と工夫が求められます。私たちはこの機会に北海道教区の宣教の課題と展望について自らの課題として考え、私たちの教区・教会が「日本社会における責任ある福音宣教を、今後も継続的・発展的に担い得る器であり続けるため」(総会議案の提案理由より)に共に考え取り組んで参りましょう。

感謝 北海の光献金(敬称略)



二〇二一年・大斎節の書簡 信仰の友へ

主の平和

しばらく、顔をあわせることが出来ずおりますが、お元気でしょうか。

コロナ禍がもう一年近く続いていきます。教会に集いたくても集えない〇〇さんのことを思い、お便りいたします。

ことに健康上の理由で不安をお持ちであり、そのことを知っておりますゆえ、心配しています。きょうも〇〇さんのことを憶えて祈りました。

そして、しばし、わたしが〇〇さんならと想像しました。

主日礼拝を長期間、欠席していることに、何らかの罪意識をお持ちではなからうか。

あるいは、孤独を感じているのではなからうか。その両方をお持ちではなからうかと。

もし、教会を休んでいることに罪を感じているなら、ご安心ください。イエスさまはそのようなことでお裁きなることは決してありません。どのような場合にも、イエスさま

まは、あなたと共にいます、あなたのためにとりなし、あなたを不安と恐れからお守りください。

自分を責めないように。かさねて言います。安心してお休みください。

孤独を感じているのでは。実際、教会からのアクション不足があることを否認しません。おゆるしくください。しかし、教会は常に〇〇さんのために祈っていることをお伝えします。ただ、このような中で制約があります。私も困難さを感じています。聖餐を希望するなら日時を調整して最大限の配慮の下、お伺いいたします。遠慮なく申し出てください。

さて、手前味噌なのですが、このようなときだからこそ、『北海の光』をすみずみまで、お読み下さるなら嬉しく存じます。巻頭言、福音と私、主教室より、教会をたより、ただし所属している教会の様

子はひと月遅れで記されています。でも、励みになると思います。情報量は少ないように、それでも毎月なので。

おすすめしたいことがあります。コロナ禍、この機会を、あえて用いて黙想の時として生かす。そのような、おすすめです。先日、二月一七日(水)、大斎始日を迎え、レントに入りました。

「あなたは塵でつくられたのだから塵に帰らなければなりません。悔い改めて、罪から離れ、キリストに忠誠をつくしなさい」。厳かに響く言葉と共に、「灰の十字のしるしを額に受けました。

確かに大斎節は「己が死を憶えること」、「悔い改めて」神に立ち帰ること、キリスト者として信仰的なりセットを行うときです。しかし同時に、否、その前提として、神さまの大きな愛と恵みを再認識するときです。むしろ、そのことから、まことの悔い改めが生じさせられます。ゆえに、死を憶えることと共に、それ以上に恵みの主を憶えたいのです。

山影 静子(大阪市)
大野和哥子(宝塚市)

具体的な提案なのですが、『祈祷書』一四三頁以下の「聖餐準備の式」を用いて黙想する。そのような試みをしてみませんか。その式文の本文は聖書の聖句から神学的かつ実践的に構成されたものです。その式文本文を味わう。きつと、そのことだけで、慰めと励ましを受けること間違いなしです。

聖公会信徒として最も身近な書の一つ『祈祷書』、その宝の再発見にならうかと思えます。そして、近い将来、そのことを分かちあえたらと思えます。主に在りて

(北海の光編集長・司祭池田亨)

今年の教区聖歌は 四六九番です!

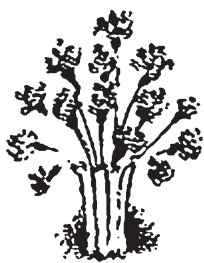
礼拝委員会

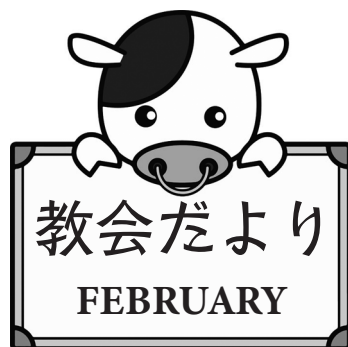
司祭 グレゴリー 松井新世

今年の教区聖歌は、今年のみ言葉「祝福されよ、主に信頼する人は」に合わせるものとして、また新型コロナウイルスの影響で、礼拝に集うことのできない教友、礼拝で声

を出して賛美できない教友のことを覚えての選曲となりました。

この歌はベニヤミン・シユモルクの原曲ですが、師は貧しいルーテル教会の牧師の子として生まれました。苦労の後、最終的には牧師として在任中、九〇〇曲以上の聖歌を作曲しました。この歌詞に配された曲は、ウエーバーの不朽のオペラ「魔弾の射手」の序曲中から採られたもので、師の生涯は生まれながら身体に障害を持ち波瀾多いものでした。繰り返しの「主よ、み心なさせたまえ」は英語で“not what I will, but what You will”で、マルコによる福音書一四章三六節イエスの「ゲツセマネの祈り」から来ています。波瀾多い中、主にその思いを委ねる曲として、家庭で、お一人で、教友と共に賛美して参りましょう。





▽旭川聖マルコ教会

二〇二一年一月三日、新年の主日礼拝が行われました。毎年恒例の持ち寄り新年会はありませんが、礼拝が守られることに感謝です。礼拝堂に続く階段ホールはマルコのミニギヤラリーです。

新年早々、祭壇を飾る生花を写した写真、二〇枚余りが展示され、あらためてお花の美しさに見入り、癒されました。いつもお花を活けて下さる矢部幸子さん、撮影された野村さんご夫妻に感謝です。三一日、礼拝後、簡略化された信徒総会を開催、無事終了。保育園の子ども達は今年の大雪で雪遊びに夢中です。

▽岩見沢聖十字教会

一二月は大雪に見舞われた

日々でしたが、新年を迎え穏やかな日が続く。元旦、一世帯のみでしたが礼拝をお捧げする。一七日、池田亨司祭司による聖餐式。共にパンとワインの恵みに与る。兄弟姉妹の一体と主の臨在を覚える。

幼稚園の預かり保育が再開し、連日四〇名近くの園児が集う。コロナも何のその。いつも元気な聖十字っ子。

【訂正】

前月の「教会だより」で主教巡回日に誤りがありました。誤・一二月一三日

正・一二月六日

訂正してお詫びします。

▽新冠聖フランシス教会

一月一〇日「顕現後第一・主イエス洗礼の日」、今年最初の聖餐式をお献げするため司祭は新冠へ。途中、教会隣りの山田さん宅へ立ち寄り、昨年暮れに逝去された衛さんの「逝去後三週間」の祈りをご家族と共に献げました。

二四日「顕現後第三主日」

礼拝後に信徒総会を開催、報

告・協議事項の全てが受理されました。教会委員には六名の兄姉が、代議員には小竹国昭兄と予備の熊谷和彦兄が選出・承認されました。今年の礼拝予定は第二と第四主日です。本年もどうぞよろしく！

▽帯広聖公会

三八年ぶりに積雪のない正月を迎えた帯広・十勝地方かと思いきや、七日を皮切りに纏まった雪が三回ほど降り、一面の銀世界になりました。これは農家にとって大地を凍結から守る恵みの雪、春耕しに大きく影響するそうです。そんな中、滑って転びケガをされた信徒の方が三名ほど。皆さん呉々もお大事に。一〇日、長く難病と闘ってこられたアンデレ毛利義成さんが主の御許に召されました。魂の平安とご遺族への慰めをお祈りします。また、当地においても老人向け施設でのコロナ感染が止まらず、多くの教友がお世話になつており、無事をお祈りするばかりです。

▽稚内聖公会

一月二四日、ひと月遅れの

クリスマス礼拝。宗谷地方は久しぶりの青空。お仕事で二年間当地にお住いの奈良基督教会信徒の谷脇博史さんをお迎え、四人でお祝いする。心配していた水道も何とか開通、屋根の雪下ろしも今のところ必要なさそう。稚内は例年「全国犬橇大会」で賑わう季節だが、今年はコロナのため、大会は中止。街は閑散としている。広谷司祭が定年退職となるため、四月から新たな管理牧師を迎え、新しいスタートが切られる。

▽苦小牧聖ルカ教会
例年になく雪が少なく、歩きやすい苦小牧です。一日は元旦礼拝。今年度は愛餐会がなく、礼拝のみとなりました。

▽幼保連携型認定こども園と
なった聖ルカ幼稚園は、四日から園児が登園しています。四日月曜日、新年度最初の教会委員会が開かれ、今年度の堅信受領者総会は教会で集

まらず、文書持ち回りの形式

で行うことにしました。苦小牧市内でも新型コロナウイルスの感染者が出ており、対策をしながら礼拝を行っています。

▽函館聖ヨハネ教会

年末から一月前半は、氷点下一〇度を下回る冷凍庫のような寒い日々。一四日間連続の真冬日は函館では二〇年ぶり。かと思えば、中旬にはプラス八度の日も。そんな中、函館ではコロナ感染者が二桁の日々が続く。一七日礼拝後には、植松主教顕現日オンラインメッセージを録画したものを大スクリーンで観る。八角堂の薪の音を聞きながら傍らにいる気分を味わった。二四日の堅信受領者総会は、礼拝後一時間と時間制限を設けて行った。定住聖職者の高齢化対策、寒さ対策として牧師館のリフォームが提案され

▽平取聖公会

今年には教会宣教一四二周年です。明治一二年にバチラーがCMSの宣教師になって、平取でペンリウク首長からア

イヌ語を習った年を起点として
います。教会の年表を見る
と宣教師ミス・ブライアント
や金成マツが伝道していた明
治三〇年代には三〇〇人もの
アイヌ女性の受洗者や日曜学
校に二百人の子が集まったと
記録されています。

今年の総会の堅信受領者は
八名でした。教会委員五名を
選出し今年の歩みが始まりま
す。一月一〇日は主イエス洗
礼の日礼拝でした。この日洗
礼者ヨハネからヨルダン川で
洗礼を受けたイエスの輝かし
い御顔を想い歩み続けます。

▽札幌キリスト教会

一日、主イエス命名日礼拝
後、留学生と分かち合う「金
曜ランチ」のお弁当配布を行
いました。積雪は少ないもの
の寒い日が続く新年でした。

四日、病床洗礼を受けられ
たヨハネ木村伸一さんが逝
去。一〇日、富樫環さんが逝
去。召されし魂の平安をお祈
りいたします。

一〇日、新旧合同の教会委
員会が行われました。

一七日の礼拝後、六日に配

信された植松主教様の「顕現
日のメッセージ」を視聴しま
した。コロナが落ち着き、多
くの皆様と集える年になりま
すように。

▽小樽聖公会

新年は大雪とともに始まり
ました。教会、牧師館側とも
道路の構造上の理由で、市の
除雪が入らないこともあり、
道幅が狭くなっています。

一〇日(日)は植松主教様
の主教巡回日。聖餐式の司式・
説教をしてくださり、また主
教夫人とともに新しい年の礼
拝をお捧げできましたことを
感謝いたします。

小樽では新型コロナウイルス
スター発生以外でも感染者が
続いています。このところの
状況に慣れてしまうことがな
いように、感染予防対策を徹
底してまいります。

▽札幌聖ミカエル教会

三日、主様のご巡回に合
わせ、セシリア成澤穂香さん、
ヴェロニカ直井徳子さんの洗
礼堅信、カタリナ山崎美智子
さんの堅信式を行い、嬉しい
一年の始まりとなる。一八日、

幼稚園の三学期が始まる。楽
しそくに登園する子どもたち
に力をもらっています。三一
日、堅信受領者総会を行う。
昨年の礼拝出席者数は、おお
むね二割の減少。これの評価
は多々ありますが、今後もコ
ロナ禍にあつても教会がより
身近になるための方策を実践
したいものです。このところ、
日曜日のリモート礼拝参加は
毎週一〇名前後を推移。教会
のホームページから、どなた
でも視聴可能です。今年は宣
教七〇周年を記念します。そ
の準備も始まります。主の導
きがありますように。

▽新札幌聖ニコラス教会

一月一日主イエス命名日、
植松主教をお迎えして聖餐
式。新しい一年を喜びの内に
スタート。

一七日は下澤司祭のもと礼
拝後に新旧合同の教会委員会
開催。雨宮耕平さんが新たに
委員に任命されました。改め
てこの状況下で何が出来るの
か話し合いを行う。昨年末に
札幌聖ミカエル教会の大友宣
さんからコロナ対策のアドバ

イスを頂き、寒い時期だが礼
拝堂内の換気的重要性を確
認。礼拝堂の換気対策も準備
を進めることで一致。

▽有珠聖公会

北海道の湘南を自負する有
珠ですが、今年は年頭より寒
さが厳しく、水道凍結防止の
ため毎日、教会の見回りが必
要なほどでした。雪かきも例
年になく頻繁です。

二四日、二〇名で、今年最
初の聖餐式をお捧げしまし
た。新たに洗礼志願者二名が
与えられ、大斎節が洗礼準備
の時となりました。

間もなく逝去から七年にな
られる林秀さんの句が、想い
起こされます。
「風花や教会堂への坂の急」
注 風花は、晴天に花びらが舞
うようにちらつく雪の事。

▽留萌キリスト教会

強い寒気に見舞われた年末
年始。教会台所の排水口が凍
結しました。その後吹雪も続
いたので、クリスマスまでの
暖冬気分は吹き飛んで消えま
した。

一月一七日、会計監査を

小林さん、池田さんが行い、
二四日に信徒総会を行いました。
総会は一時間以内の短縮
型で、二月末まで質問意見の
交換を随時行うという形で
す。

今年が宣教一二〇年の記念
を祝う予定です。シンプルな
礼拝と捧げもので、出来る限
りのお祝いをするつもりで話
し合っています。

▽今金インマヌエル教会

一月一七日と三二日に礼拝
を守りました。新しい年を迎
えて、本来ならば心機一転さ
あ今年は！と出発するのがい
つもですが、あれから一年ま
だまだその日は先のようにで
す。今回の総会は書面議決と
いう方法で実施。わずかばか
りの人数での確認。賛成多数
で承認されましたが何か物足
りない雰囲気の中、今年の方
針が決まりました。それでも
白い雪の中にハッと目を止め
させるヒイラギの赤い実のう
れしさのような希望を心に今
年も過ごしてゆきたいもので
す。皆様も祝福に満ちた日々
が送れますように。

▽聖マーガレット教会

一月六日(水) 顕現日、クリスマス飾りつけの片付けおよび、教会の清掃をする。いつもの五名が奉仕してください。いつもの顔ぶれ、黙々と働く。

一日(月) 午後、現在堅信受領者総会に向けて前年度の諸会計の監査を行う。会計を担う方々の労を思う。ほんとうに頭が下がる。

二三日(土)、総会資料の印刷と綴じの作業を行う。翌日、教会出席者に配布。翌々日、郵送作業。雪の中、連日そしてコロナ禍の中にもかかわらずの奉仕に感謝。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

私達が経験した事のないコロナ禍の中で、教会は、多くの方々の祈りと奉仕に支えられ新しい年を歩み始めました。例年になく多量の雪の中を往復七〇キロ余り阿寒町から札拜・諸ご奉仕に通われる荒井・飯沼両ご夫妻の姿に私達の弱い信仰が強められる思いが致します。

▽室蘭聖マタイ教会

早目に準備資料が届けられた現在堅信受領者総会は、予定通り三一日礼拝後開催され、松井司祭のメッセージから始まり、各議案・報告が続き、時間内でもスムーズに終了しました。及川由美子書記・氏家節子委員の手腕が光ります。また厚岸聖オーガスチン教会の今後の歩みに新しい提案がなされ、今後に期待されています。佐田里美姉の細かな配慮に感謝です。

保育園は鳴海新園長・職員・園児も皆元氣、寒さに負けず園庭での雪遊びで体力づくり。畑先生の産休入りのニュースも。また、花巻俊雄兄から園児を元気づけたいと四季を描いた「はがき絵」額入りが贈られました。光は北から。

▽室蘭聖マタイ教会

室蘭は雪が少ないのですが、道路が凍りその上に数日おきに少雪が降り、歩くのに困難を来たしております。高齢者にとっては大変不自由しています。新年は一月一〇日の第二主日、吉野司祭の来教

▽網走聖ペテロ教会

網走にも流水が到来、教会のみなさんも健康第一にこの冬を過ごし春を待っていることでしょうか。新年を迎え、婦人会は会名が「婦人会」から「ザカリヤ会」となり活動します。大きな働きは出来ませんが、感謝を持ち、出来る事を続けられたらと思います。

▽網走聖ペテロ教会

一三年間教会の会計を御奉仕して下さった森谷姉に代わり和田姉が会計を引き継ぐことになりました。ペテロの会で賛美と掃除を、勉強会で御言葉にふれ学びの時を持ち、小さな歩みの中にも主の豊かな祝福がありますようお祈り

▽深川聖三一教会

一月五日保育園の仕事始めの日。六、一三、二〇、二七日、保育園の礼拝・光の子の時間。七日、同所職員会議、岸本保育士からインフルエンザ対策の指導あり。コロナ禍で、家庭と園との強い衛生対策により風邪がおさえられているようです。二四日、新旧合同教会委員会で信徒総会議案の作成。二七日、主教様人事の諮問を各委員に発送、全員の了承を得て、三一日主教様に管理司祭広谷牧師を通して承諾書を発送。保育園の屋根の除雪を寺岡建設でしてください。ご厚意に感謝いたします。

▽北見聖ヤコブ教会

北見―網走間は車で一時間程なのですが、無事に着くところが一仕事みたいなどころがあります。着いてからストーブのスイッチを入れ、除雪をし、部屋が温まってから水出しをいたします。

▽北見聖ヤコブ教会

ご高齢で体調の優れない方々が多く、近隣の学校や診療所からコロナの陽性者が出

ていることもあり、皆さまには原則、ご自宅でお祈りいただき、司祭による定時の礼拝を今はお守りしております。

二八日、YMCAの子どもたちが来会し、司祭・職員と礼拝を共にいたしました。

▽紋別聖マリヤ教会

昨年と比べ雪の多さも寒さも厳しいと感じています。一七日、植松主教による主日礼拝、聖餐式。その後、教会委員会が開かれ、来月の信徒総会の打ち合わせをしました。

信徒だけで守られる朝の礼拝も、オホーツク地方での新型コロナウイルスの感染拡大がみられるため、紋別でも再び聖歌は歌わずに歌唱付きの聖歌を流して聞いています。他の教会の皆さんと同じように、歌えないストレスを感じながらの礼拝ですが、教会に集えることに喜びを感じながら守ってゆきたいと思

